

# 新時代を拓く

# 社会科の挑戦

本書は、日本社会科教育学会出版プロジェクトが、

- ①社会科再編成以降の教育課程や近年の教育改革を踏まえ、さらには今後の教育課程改訂を視野に入れて、社会科の課題と可能性を明確にすること、
- ②日本社会科教育学会全国研究大会におけるシンポジウムや課題研究を中心に、学会員の研究成果をまとめること、
- ③社会科教育研究の成果や課題等を若い世代に伝え、次世代の社会科教師を育てること

等を目的として企画しました。

◆学生・院生を含め、社会科に関心のある熱心な教師のみなさんが、社会科について研究したり、考えたりする際に、手がかりとなる理論書です。

◆大学の学部・大学院の演習等で、テキストとしてご使用いただけます。

◆大学院、専門職大学院等への進学をめざす方の必読書です。

A5判 336ページ

定価 2,600円(本体 2,476円)

日本社会科教育学会出版プロジェクト編



●発行所.....

(株)第一学習社 〒733-8521 広島市西区横川新町 7-14 TEL 082-234-6800(代表)

お求めの際は、最寄の書店、大学生協などへお申し込みください。

# ●●●●●●●●●● 目次・執筆者一覧 ●●●●●●●●●●

## まえがき

三浦 軍三 (東京学芸大学)

## 第1章 今、なぜ社会科か ― 課題と展望 ―

- |     |                    |              |
|-----|--------------------|--------------|
| 第1節 | 子どもの社会意識の変化と社会科の課題 | 大友 秀明 (埼玉大学) |
| 第2節 | 新しい時代における社会科の学力    | 谷川 彰英 (筑波大学) |
| 第3節 | 社会科学習論の展開と可能性      | 木村 勝彦 (茨城大学) |
| 第4節 | 情報化社会における社会科教育の在り方 | 佐藤 公 (上武大学)  |
| 第5節 | 市民社会の確立に果たす社会科の役割  | 江口 勇治 (筑波大学) |

## 第2章 社会科ではどのような資質や能力を育てるべきか

- |     |                             |                   |
|-----|-----------------------------|-------------------|
| 第1節 | 公共性の変容を踏まえた<br>社会科の目標、内容の検討 | 工藤 文三 (国立教育政策研究所) |
| 第2節 | 地球市民の育成と社会科                 | 西脇 保幸 (横浜国立大学)    |
| 第3節 | アジア認識と社会科                   | 坂井 俊樹 (東京学芸大学)    |
| 第4節 | 地域意識の形成と社会科                 | 竹内 裕一 (千葉大学)      |

## 第3章 社会科ではどのような学習が組織されるべきか

- |     |                                |                   |
|-----|--------------------------------|-------------------|
| 第1節 | 社会科における地理的技能の育成                | 井田 仁康 (筑波大学)      |
| 第2節 | 社会科における空間認識の育成                 | 山口 幸男 (群馬大学)      |
| 第3節 | 社会科における歴史認識の育成                 | 戸田 善治 (千葉大学)      |
| 第4節 | 社会科教育における<br>ナショナル・アイデンティティの形成 | 二井 正浩 (国立教育政策研究所) |
| 第5節 | 社会科におけるマイノリティ学習                | 桐谷 正信 (埼玉大学)      |
| 第6節 | 社会科における課題追究学習の展開と課題            | 谷田部玲生 (国立教育政策研究所) |
| 第7節 | 社会科における社会参加学習の展開               | 唐木 清志 (筑波大学)      |

## 第4章 社会科は現代社会の諸課題にどのように応えるべきか

- |     |                              |                     |
|-----|------------------------------|---------------------|
| 第1節 | 人権と平和の問題から<br>持続可能な開発のための教育へ | 佐藤 亨 (東京都立六郷工科高等学校) |
| 第2節 | 社会科における福祉教育・ボランティア学習         | 田村 真広 (日本社会事業大学)    |
| 第3節 | 社会科における金融経済教育                | 栗原 久 (信州大学)         |
| 第4節 | 社会科における情報教育                  | 木内 剛 (成蹊大学)         |
| 第5節 | 社会科における法教育の方向性               | 磯山 恭子 (静岡大学)        |
| 第6節 | 社会科における多文化教育                 | 川崎 誠司 (東京学芸大学)      |
| 第7節 | 社会科における環境教育                  | 相澤 善雄 (東京都立国立高等学校)  |

## 第5章 社会科教育研究を授業にどう生かすべきか

- |     |                             |                   |
|-----|-----------------------------|-------------------|
| 第1節 | 社会科授業論の継承と発展                | 溜池 善裕 (宇都宮大学)     |
| 第2節 | 社会科授業における指導と評価の一体化          | 長谷川康男 (筑波大学附属小学校) |
| 第3節 | 社会科における地域教育資源の活用            | 野口 剛 (筑波大学附属高等学校) |
| 第4節 | 総合的学習における社会科の生かし方           | 大澤 克美 (東京学芸大学)    |
| 第5節 | 教師の力量を高める<br>現職研修カリキュラムの在り方 | 小池 俊夫 (日本私学教育研究所) |

## あとがき

影山清四郎 (横浜国立大学)